

# 福島イノベーション・コースト構想デジタルスタンプラリー事業 業務委託企画プロポーザル実施要領

## 1 目的

本事業は、福島イノベーション・コースト構想の実現に向けた動きを加速させるため、県内小学生及びその親世代を主な対象に、浜通り地域等 15 市町村のイノベ構想に関わる拠点等に実際に訪問したり、周遊したりすることにより、県民等のイノベ構想等に対する認知度向上や理解の深化を図り、構想への参画や構想に参画する事を支える機運を醸成することを目的とする。

## 2 委託事業の概要

### (1) 委託事業名

福島イノベーション・コースト構想デジタルスタンプラリー事業

### (2) 事業委託者の選択方法

公募型プロポーザル方式（以下「プロポーザル」という）

### (3) 委託予定期間

委託契約締結の日から令和 6 年 2 月 2 9 日（木）までの期間

### (4) 委託事業の内容

「福島イノベーション・コースト構想デジタルスタンプラリー事業業務委託仕様書」のとおり。

なお、具体的な手法については、企画提案書の選定後に提案内容を反映して決定し、仕様書に反映する。

## 3 委託契約上限額

11,000,000円（消費税及び地方消費税の額を含む）

- ・この上限額以下の金額で委託事業を受注し、確実に実施可能な提案を行うこと。
- ・見積書作成に当たっての消費税は、10%で算定すること。

## 4 公募方法とスケジュール

### (1) 公募方法

機構ホームページにより公募する。

### (2) スケジュール

内容	日時
募集開始	令和 5 年 4 月 2 4 日（月）
質問書の提出期日	令和 5 年 5 月 1 日（月） 17:00
質問書への回答	令和 5 年 5 月 8 日（月）
参加表明書提出期日	令和 5 年 5 月 1 0 日（水） 17:00
企画提案書提出期日	令和 5 年 5 月 1 5 日（月） 17:00
審査（プレゼンテーション）	令和 5 年 5 月 1 9 日（金）（予定）
審査結果通知日	令和 5 年 5 月 2 2 日（月）（予定）
契約締結	令和 5 年 5 月 2 6 日（金）（予定）

## 5 参加資格等

本プロポーザルに参加できる者は、次に掲げる条件を全て満たしている者とする。

(1) 次の各号のいずれにも該当しない者。

ア 当該入札に係る契約を締結する能力を有しない者。

イ 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者。

ウ 暴力団員による不当な行為の防止に関する法律(平成3年法律第77号)第32条第1項各号に掲げる者。

(2) 次に該当しない者。

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構(以下「機構」という。)は、一般競争入札に参加しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、その者について3年以内の期間を定めて一般競争入札に参加させないことができる。その者を代理人、支配人その他の使用人又は入札代理人として使用する者についても、同様とする。

ア 契約の履行に当たり、故意に工事、製造その他の役務を粗雑に行い、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をしたとき。

イ 競争入札又はせり売りにおいて、その公正な執行を妨げたとき又は公正な価格の成立をし、若しくは不正の利益を得るために連合したとき。

ウ 落札者が契約を締結すること又は契約者が契約を履行することを妨げたとき。

エ 機構が工事若しくは製造その他についての請負契約又は物件の買入れその他の契約を締結した場合においては、当該機構の職員は、政令の定めるところにより、契約の適正な履行を確保するため又はその受ける給付の完了の確認(給付の完了前に代価の一部を支払う必要がある場合において行なう工事若しくは製造の既済部分又は物件の既納部分の確認を含む。)の規定による監督又は検査の実施に当たり職員の職務の執行を妨げたとき。

オ 正当な理由がなくて契約を履行しなかったとき。

カ 契約により、契約の後に代価の額を確定する場合において、当該代価の請求を故意に虚偽の事実に基づき過大な額で行ったとき。

キ 上記の「福島イノベーション・コースト構想デジタルスタンプラリー事業業務参加資格等」により、本プロポーザルに参加できないこととされている者を契約の締結又は契約の履行に当たり代理人、支配人その他の使用人として使用したとき。

(3) 募集要領を公示した日から契約締結日までの期間において、福島県及び国の機関等における入札参加資格制限措置要綱の規定に基づく入札参加制限中の者でないこと。

(4) 会社更生法(平成14年法律第154号)の規定による更生手続開始の申立てをした者若しくはなされた者(同法第41条第1項に規定する更生手続開始の決定を受けた者を除く。)又は民事再生法(平成11年法律第225号)の規定による再生手続開始の申立てをした者若しくはなされた者(同法第33条第1項に規定する再生手続開始の決定を受けた者を除く。)でないこと。

(5) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)に該当しないほか、次に掲げる者でないこと。

ア 役員等(提出者が個人である場合にはその者を、提出者が法人である場合にはその役員又はその支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表者をいう。以下同じ。)が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。))。

- イ 暴力団又は暴力団員が経営に実質的に関与している者。
- ウ 役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどした者。
- エ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している者。
- オ 役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者。

(6) 福島県税を滞納している者でないこと。

(7) 消費税又は地方消費税を滞納している者でないこと。

## 6 募集要領及び各種様式等の入手方法

募集要領及び各種様式等の電子データは、機構のホームページから取得できる。

URL : <https://www.fipo.or.jp>

## 7 質問等の受付

質問については、以下により受け付けるものとする。

### (1) 受付期間

令和5年5月1日(月)17時まで

### (2) 提出方法

質問書(第1号様式)により、機構宛てに電子メールまたはファックスで提出のうえ、必ず電話にて送付した旨を連絡すること。なお、書面以外による質問の受付は行わない。

### (3) 回答

質問に対する回答は、競争上の地位その他正当な利害を害するおそれのあるものを除き、機構のホームページに随時公表する。(個別の回答は行わない。)

## 8 参加表明書の提出

プロポーザルに参加する意思のある者は、福島イノベーション・コースト構想デジタルスタンプラリー一事業業務委託企画プロポーザル参加表明書(第2号様式)を提出期限までに福島イノベーション・コースト構想推進機構交流促進課に提出すること。なお、この提出がない者の企画提案は受け付けないものとする。

(1) 提出期限 : 令和5年5月10日(水)17時まで(必着)

(2) 提出方法 : 郵送又は持参

※持参による提出の受付時間は、月曜日から金曜日(祝日を除く)の8時45分から17時00分までとする。

## 9 企画提案書等の内容

プロポーザルに参加する意思のある者は、「5. 参加表明書の提出」を行ったうえで、企画提案書等を提出期限までに福島イノベーション・コースト構想推進機構交流促進課に提出すること。

(1) 提出期限 : 令和5年5月15日(月)17時まで(必着)

(2) 提出方法 : 郵送又は持参

※持参による提出の受付時間は、月曜日から金曜日(祝日を除く)の8時45分から17時00分までとする。

### (3) 企画提案書等

ア 福島イノベーション・コースト構想デジタルスタンプラリー事業業務委託企画プロポーザル参加表明書（第2号様式）の写し

※「5. 参加表明書の提出」にて提出した表明書写しを提出すること。

イ 企画提案書及び工程表（任意様式、ただし、日本産業規格A4版とする。）

ウ 事業経費積算書（任意様式、ただし、日本産業規格A4版とする。）

エ その他企画提案を説明するのに必要な書類

オ 会社概要（第3号様式）と直近2年分の決算書又は事業報告書（収支状況がわかるもの）

カ 事業実施体制書（第4号様式）

キ 定款又は寄付行為の写し（法人格を有しない場合は、団体規約の写し等運営規則に相当するもの。）

ク 法人登記簿の写し（企画提案書受付日の3ヶ月以内のもの）

※法人格を有しない場合は、名称、所在地、資産の総額、代表者の氏名及び住所を記載した書類。

ケ 暴力団等反社会的勢力でないことの表明・確約に関する同意書（第5号様式）

### (4) 提出部数

ア～カ…5部（正本1部、副本4部）、キ・ク・ケ…1部（正本1部）

## 10 企画提案書の内容

企画提案書には、福島イノベーション・コースト構想デジタルスタンプラリー事業業務委託仕様書（以下、「仕様書」という。）に基づき、次の事項に注意して作成すること。

(1) 仕様書に記載されている委託事業が、円滑かつ着実に遂行できる具体的な提案を行うこと。

(2) より多くの福島イノベーション・コースト構想の認知度向上及び理解の深化の観点から効果的かつ具体的な提案を行うこと。

(3) 仕様書に記載された業務内容のほか、本事業の目的達成に資すると思われる独自の提案を行うことは可能とする。

## 11 企画提案書の無効

次の各号の1つ以上に該当する場合、参加表明書及び提案書（以下提案書等）は無効とし、プロポーザルに参加できないものとする。

ア 提出者が上記「5 参加資格等」に定める参加資格等を満たしていない場合。

イ 同一の者が2つ以上の提案書を提出した場合。

ウ 提案書等の提出方法、提出先または提出期限に適合しない場合（なお、提出期限の日までに提案書等が到着しないことを理由に提案書等を無効とした場合、一般書留又は簡易書留による配達記録を有さない者からの異議は受け付けない）。

エ 虚偽の内容が記載されている場合。

オ 委託契約上限額の範囲内に収まっていない場合。

カ 提示した業務内容と大きくかけ離れている場合。

キ 提案内容に対して見積もりが不適切な場合。

ク 提案書の提出から契約までの間に、提案書で提示した事業実施体制に記載した担当者が本事業に携わることが困難になった場合（ただし、病気、事故、退職等、やむを得ない事情がある場合を除く）。

ケ プレゼンテーション当日に出席しなかった場合（ただし、交通事故や自然災害等の不測の事態が

発生し、プレゼンテーション開始時刻に到着できなかった場合を除く)。

## 12 企画提案書等の取扱い

提出された提案書等の取扱いは、次の各号による。

ア 提出された提案書等は返却しない。

イ 提案書等の作成及び提出に要する費用ならびにプレゼンテーションに要する費用は、提出者の負担とする。

ウ 提出された提案書等は、審査及び説明のためにその写しを作成し使用できるものとする。

エ 提出された提案書等は、提出者の情報保護の観点から、原則として非開示とする（ただし、提出書類に虚偽の記載があった場合等、必要に応じて開示することもある）。なお、開示する際は、提案書等の写しを作成し、使用できるものとする。

オ 提出書類提出後に辞退する場合は、辞退届（任意様式）を提出すること。

## 13 選定方針

### (1) 選定方式

業務受託者の選定は、別途設置する「福島イノベーション・コースト構想デジタルスタンプラリー事業公募型プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」）」が行うものとする。

審査委員会は、提案書等の内容を総合的に評価し、事業受託予定者（随意契約の予定者）を選定する。

なお、提出状況によって、審査の選定方式及びスケジュールが変更になる場合がある。

### (2) プロポーザル審査

提出のあった企画提案書についてプレゼンテーションを受け、最も優れた提案者を選定する。

ア 日時：令和5年5月19日(金)

イ 場所：機構内会議室（福島市中町1番19号 中町ビル6階）(予定)

ウ 概要

- ・ 1 提案者あたりの出席者は2名以内とする。
- ・ 1 提案者あたりの時間は、25分程度とする。
  - \* 15分以内のプレゼンテーション、10分程度の質疑
- ・ プレゼンテーションに使用する資料は、提案書と同じ内容とし、追加の資料の配付は認めない。
- ・ プレゼンテーションの日時や場所の詳細、当日プレゼンテーションで使用できる機器等は、参加表明書の提出のあった者に別途通知する。
- ・ 審査の結果、上位複数社が同評価であった場合は、参考見積額が低価格で提案した者に決定する。
- ・ 審査結果は、プレゼンテーション審査に参加した全社に対して書面にて通知する。
- ・ 審査結果に対する異議申し立て、質問等は一切受け付けない。

(3) 審査基準

審査基準は以下のとおりとする。

審査項目	評価の視点	配点	配点合計
業務遂行能力			
業務体制	・事業を実施する上で十分な体制であるか。 ・新型コロナウイルス感染防止対策を講じているか。 ・不測の事態が起きた場合に対応できる体制であるか。	10点	30点
スケジュール	・業務を円滑かつ効果的に実施できるスケジュールであるか。 ・進行管理体制は適切か。	10点	
業務実績	・本業務と類似の業務の受注実績若しくは特筆すべき業務成果があるか。	10点	
企画提案内容			
業務理解	・本事業の目的や業務内容を理解しているか。 ・意欲的な提案となっているか。	15点	70点
企画性	・具体的な実現性の高い提案となっているか。 ・参加への訴求力が期待できる内容の提案となっているか。	15点	
情報発信	・構想の浸透が図られる広報を提案しているか。	15点	
独創性	・仕様書に記載されている内容以外に、本事業の効果を高める提案をしているか。	15点	
事業経費	・事業経費は適正であるか。	10点	
合 計			100点

(4) 評価基準

審査項目ごとに評価点を付す。評価基準は以下のとおりとする。

評価	10点満点	15点満点
優れている	(9点～10点)	(13点～15点)
やや優れている	(7点～8点)	(10点～12点)
普通	(5点～6点)	(7点～9点)
やや劣る	(3点～4点)	(4点～6点)
劣る	(1点～2点)	(1点～3点)

※なお、実施回数については、1回の場合5点、2回以上の場合、10点とする。

14 契約の締結

審査委員会が選定した最も適した提案書提出者と、機構財務規程に基づき契約交渉を行うが、上記10の無効条項等に該当する場合（提案書等の提出から契約までの間に該当することになった場合を含む）は、その者とは契約の締結は行わない。なお、この場合は、次点の者を候補者とする。

15 その他

- ・企画提案のあった規模を下回ることはできない。実現可能な提案とすること。
- ・提案書に基づく履行ができなかった場合は、契約金額の減額、損害賠償、契約解除、違約金などの措置を行う場合がある。

16 問い合わせ先及び各種書類の提出先（事務局）

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構

福島オフィス 交流促進課 担当：鈴木、門脇

住 所：〒960-8043 福島県福島市中町1番19号 中町ビル6階

電 話：024-581-6893 FAX：024-581-6898

メール：[kouryuu-sokushin@fipo.or.jp](mailto:kouryuu-sokushin@fipo.or.jp)